

成績評価・GPA 制度

成績

各科目の成績は、シラバスに示す評価方法により、試験（筆記、レポート、その他）、授業参加状況、受講態度などから100点満点で得点をつけ、以下に示す基準により、S、A、B、C、Dの5段階で評価します。

成績評価	成績	判定
S	90～100点	合格
A	80～89点	
B	70～79点	
C	60～69点	
D	59点以下	不合格

GPA（Grade Point Average）制度について

（1）目的

GPAとは、それぞれの科目で得た成績評価をポイント（GP）に置き換え、計算式により平均数値（GPA）を算出する成績評価システムです。

本学では、学修到達度を客観的に評価し、卒業判定や保健師教育課程専攻への出願要件ならびに適切な学修指導に用いるとともに、学生の学修意欲を高めることを目的に、GPA制度を導入しています。

（2）評価と GP

各科目の成績評価に対するGPは以下のとおりです。

成績評価	成績	GP
S	90～100点	4点
A	80～89点	3点
B	70～79点	2点
C	60～69点	1点
D	59点以下	0点
N	—	対象外*

*他大学等で修得し、本学の単位として認定された科目の単位（N）についてはGPの対象外とします。

（3）算出方法

GPAは次の計算方法により算出します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

- ・履修登録科目の総単位数に、不合格科目（成績評価が「D」）の単位数を含みます。
- ・不合格の科目を再履修した場合、再履修前のGPについては、累計GPAには含めません。
- ・分母の総履修単位数には、他大学等で履修した科目は含めません。
- ・GPAには、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての「学期GPA」と、在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としての「累計GPA」があります。

(4) 退学の勧告について

1年次後期以降の累計GPAが1.0を下回った場合、学修指導を行います。なお、学修指導にもかかわらず改善がみられない学生については、教授会の議を経て退学の勧告をすることがあります。

(5) 卒業判定について

卒業判定においては、原則として累計GPAが2.0以上であることが必要です。

(6) 保健師教育課程専攻の出願について

保健師教育課程専攻の選抜の出願には、1年次後期までの累計GPAが2.5以上であることが必要です。